

ベルーフニュース vol.48

発行日：2025年1月14日

♪ベルーフの特徴

2025年が始まりました。本年もよろしくお願ひ申し上げます。
令和5年12月のデータによると、就労移行支援事業所は全国に2,941箇所とのことです。ベルーフは文京区小石川にただ1軒。定員も20名と比較的小規模ではありますが、就労後の継続について高い実績をあげている事業所です。その理由と特徴について、紹介します。

① その分野のプロが行う職業教育を実施しているから

IT研修を担当しているのは、大手IT企業で長年働いてきた技術者3人です。3人とも大学の電子工学科を卒業しており、高度成長期以後の自社の発展を支えてきた実力者。キャリアの後半は自社の新人教育も担当してきたため、学びのバックボーンが理系でない人でも安心して学ぶことが出来ます。

またビジネス研修を担当しているのも、就労および継続支援で数々の企業の障害者雇用を成功させてきたプロ。企業が求める貢献の原則を、どのように体得すれば良いかを指導します。

一般企業での経験を元に、利用者を、企業で働くよう鍛えることが出来る指導のプロはそう多く居ませんが、ベルーフにはそんな人材が集まっています。

② 医療・福祉のプロが相談にのってくれるから

2014年の創業時から、現役の精神科医が利用者のカウンセリングを担当しています。治療的なカウンセリングではなく、働く時やベルーフで訓練を受け



る際の、自身の障害への向き合い方について、医療面からサポートします。

また、通所開始前から利用者に伴走し、必要な社会資源について情報提供する社会福祉士が生活支援員として勤務しており、面談・相談を通じて利用者の取組みを支えます。

就労すると、生活の中でそれなりに長い時間を仕事に費やすことになります。長く安定して働くためには、自分をサポートしてくれる存在＝味方を、自らつくっていくことが必須です。医療・福祉のプロは、そのための情報提供から実際の関係づくりをサポートしています。

③ 各種ネットワークが充実しているから

創業10年で、クリニック・関係支援機関・大学・企業とネットワークをつくりました。数々の問題・課題を、様々な立場の人たちの知恵を結集して連帯で解くヨーロッパのやり方に倣ったネットワークで、近年は関係者を多方面に増やしています。

先の2つのようにベルーフの中でのサービスの充実は重要ですが、ベルーフに入る前や卒業後、ベルーフ以外の場でも、本人が希望すれば必要な支援を受けられるようにするために、地域の関係機関との連携が不可欠です。ネットワーク参加機関はベルーフの理念に賛同頂いており、定期的な情報交換を行なながら、利用者を中心に据えた支援者のサポートチームを形成していきます。

いかがでしたでしょうか。1箇所のみ、また少人数であればこそ、一人一人の利用者の強みを引き出し、磨き上げ、企業に雇用される条件を利用者自らつくっていくサポートを実現しているのが、ベルーフです。

ご興味を持たれましたら、お気軽に見学にいらしてください。

就労移行支援事業所ベルーフ

東京都指定障害福祉サービス事業所 1310500739

〒112-0002 東京都文京区小石川5-4-1 瑞穂ビル9階

TEL 03-5803-2424 E-mail info@beruf.jp

Web <https://beruf.jp/> X(Twitter) @tw_beruf11